



第9回アジア原子力人材育成会議を開催しました

平成 31 年 2 月 6 日から 8 日までの 3 日間、国際原子力機関（IAEA）の協賛を得て、「アジア原子力人材育成会議」をエネ研で開催しました。本会議は、福井県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画」に基づき、アジアをはじめ世界各国の原子力発電所導入の動きや人材育成の課題等について情報を共有し、協議することを目的として平成 22 年から開催しており、今回で 9 回目となります。

今回は、「原子力分野におけるナレッジブル・カスタマー（賢明な顧客）」をテーマに、IAEA の専門家 1 名と 9 か国（バングラデシュ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ポーランド、スリランカ、タイ、ベトナム、UAE）から 11 名の政府機関の高官等が参加し、国内からは、国や自治体、大学、日本原子力研究開発機構、電力事業者等の原子力人材育成関係者 31 名が参加しました。

藤田穰副知事の挨拶に引き続き、IAEA 原子力エネルギー局のドヒー・ハーン原子力発電部長、内閣府原子力委員会、経済産業省、文部科学省、福井県等による講演が行われ、世界情勢の分析や日本の原子力発電、エネルギー基本計画、福井県の取り組みなどが紹介されました。

次に、各国から現状や課題に関する報告があり、その後討論が行われました。討論では、原子力発電所の導入国が原子力技術に関して輸出国と対等に交渉しつつ、円滑に導入を進めるために、導入の進捗段階に応じて IAEA が定めた活動を展開する必要があることなどが議論されました。

次回は、「原子力安全における能力強化」をテーマに来年度開催されます。



会議の様子



会議参加者

美浜 1、2 号機の廃止措置工事に係る情報交換会を開催しました

平成 31 年 1 月 31 日、福井県内企業の廃炉業務への参入促進の一環として、エネ研において関西電力(株)美浜発電所 1、2 号機の廃止措置工事に係る元請会社（日本建設工業(株)、関電プラント(株)、三菱原子燃料(株)、原子燃料工業(株)）と県内企業との情報交換会を開催しました。美浜発電所の廃止措置工事に係る情報交換会は平成 29 年 3 月、30 年 1 月に続き 3 回目で、廃止措置工事に興味のある企業 54 社、80 名の参加がありました。

今回は、本年 6 月頃から開始される原子炉容器外の放射能調査と平成 32 年度から開始される新燃料搬出工事が対象でした。まず、関西電力(株)が廃止措置工事の状況について説明した後、全体説明会にて元請会社の日本建設工業(株)、三菱原子燃料(株)から工事の内容や工程、参入を希望する県内企業に求める技術的なニーズ等について説明がありました。

その後、面談を希望した 15 社が元請会社 4 社と個別に情報交換を行い、各元請会社に詳細な工事内容を確認するとともに、自社の技術力等をアピールしました。

エネ研では、今後も県内原子力発電所の廃止措置工事に係る情報交換会等を開催し、県内産業の廃炉業務への参入を支援していきます。



個別面談会



全体説明会

生物資源研究室は、イオンビーム照射による生物の品種改良および未利用生物資源の有効活用を主要な研究テーマとしています。

イオンビーム照射による生物の品種改良では、試験研究機関や大学、種苗会社等と共同で、観賞用草花や野菜、微生物等を対象に新品種の開発研究を行っています。また、品種改良の基礎研究として、イオンビームによる突然変異形成のメカニズム、有用な生物を見分けるための DNA マーカー、品種を特徴づける有効成分分析に関する研究も行っていきます。これらの研究で蓄積されたノウハウ等は、福井県内の公設試験研究機関へ積極的に提供しています。さらに、理化学研究所と共同研究を行うとともに、平成 29 年度からは、両者が連携したイオンビーム育種相談窓口を開設しています。

未利用生物資源の有効活用では、湖沼の富栄養化原因物質を吸収する植物や微生物の開発、バイオマス廃棄物の有効活用研究を行い、現在は、ラン藻を利用した水素生産を中心に研究しています。

主な成果として、右の写真に示した観賞用草花 9 品種を開発しました。また、植物工場用の高生長性リーフレタスの品種登録を出願し、着果のための手間が非常に少ない中玉トマトの出願を準備中です。微生物の改良では、抗がん成分の生産性を高めた冬虫夏草菌(福井大学との共同研究)、高効率に N-アセチルグルコサミンを生産できる土壌細菌(福井県立大学との共同研究)等の開発に成功しています。



民間種苗会社と共同開発した観賞用草花の品種名と植物種（青枠内は品種登録済み、青枠外は出願中）

3月12日に小浜でエネ研の支援制度を紹介します

エネ研では、福井県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画」に基づき、産業の創出・育成のため、国や県の支援制度に関する情報提供、県内企業を対象とした補助金や共同研究などによる研究開発支援を行っています。

これらの支援制度等を広く県内企業に活用いただき、新たな技術や商品の開発につなげていくことを目的として、福井県工業技術センターおよび（公財）ふくい産業支援センターが下記の日程で開催する『支援施策説明会』において、エネ研の支援制度等について紹介します。また、近畿経済産業局の支援事業についての紹介もあります。申込方法等の詳細については、福井県工業技術センター企画支援室技術相談グループ（TEL：0776-55-0664）か、エネ研企画支援広報部（TEL：0770-24-7273）までお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしております。

（日 時）平成 31 年 3 月 12 日（火）13:00～16:40

（場 所）小浜商工会議所 3 階大ホール（小浜市大手町 5-32）

（参加費）無料

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。また、エネ研では、福井県内の企業を訪問し、研究ニーズとシーズのマッチングを行っております。訪問をご希望の方も、下記担当までどうぞ。

郵 便：〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail：kikakushien@werc.or.jp TEL：0770-24-7270 FAX：0770-24-7275

